

議会だより

ホットケーキ
焼けたよ



すぎのこ ゆうぎかい
P18に関連記事

12
月
定
例
会

政策提言	P. 2
町民と議会の懇談会	P. 5
補正予算質疑	P. 8
一般質問	P.10

議案内容と採決の結果	P.14
行政視察	P.15
シリーズ遊佐人 [®] (杉の子幼稚園)	P.17
議会クイズ・編集室より	P.18

政策提言



政策提言

懇談会報告

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

委員会レポート

遊佐人

シティ宣言

けた目標、実施計画を明らかに。
いて、具体例も含め町民にわかりやすい説明を。



屋根に設置された太陽光パネル

域づくり

状況に即した地域づくりを。
処遇改善につながるよう、交付金^{※2}の増額を。
への移転は、地域との十分な協議を。



移転予定の蕨岡まちづくりセンター

まちづくりセンターの事業費と事務員の人件費が主。

の教育環境

ある通学路やバス停の改善を。
居場所確保を。



統合した遊佐小学校

割と責務は大きい。事業者だけでなく国・県に対
見極めを。

配される。事後検証できるよう町民に対する健康

しながら、誰もが理解できる丁寧でわかりやすい



西浜海水浴場から見たフォトモンタージュ(町で制作)

より良い町に 願いを込めて

遊佐町議会では毎年、**町政の重要課題**に関し、**町**に対して政策提言を行っています。5年度は12月定例会で議決した、右の4つの提言を行いました。

いずれも4年度の政策提言の町政への反映状況(P4)や「町民と議会との懇談会」でいただいた意見などに基づいています。

町は提言の趣旨を十分にくみ取り、**適切に町政に反映**させるよう求めます。

議会だよりには提言の要旨を載せています。全文は右のQRコードからご覧ください。



提言**1** ゼロカーボン

1. 「ゼロカーボンシティ」実現に向
2. 「ゼロカーボンシティ」宣言につ

提言**2** これからの地

1. 地域^{※1}ごとの人口構成を調査し、
2. 各まちづくりセンター役職員の
3. まちづくりセンターの空き校舎

※1 地域…………… 6地区のこと。

※2 交付金…………… 地域活動交付金のこと各

提言**3** 小学校統合後

1. 風雪や防犯の面など、不具合の
2. 放課後や長期休暇など、児童の

提言**4** 洋上風力発電

1. 町が町民の窓口として果たす役しても事業内容について厳しく
2. 低周波などによる健康被害が心調査の検討を。
3. フォトモンタージュなども活用説明を。



4年度の提言はどうなった？

提言は町政に反映されたのか

議会では1年前に4年度の政策提言を町に提出しています。その提言が実際の施策にどのように反映されたのか、町からの回答を基にお伝えします。

町長に政策提言を提出(4年12月)▶



提言2 小学校統合後のまちづくりと空き校舎の利活用

現状 5年1月に「空き校舎利活用基本計画」を策定したものの、5年12月現在、まちづくりセンターの移転は地区との調整が円滑とは言えない。それ以外の利活用の具体化も、議論が不十分と考えられる。

提言 統合後の地区のありようは、今後のまちづくり全般に大きく関わる。地区の思いが適切に施策に反映されるよう、特段の配慮を。

現状 小学校と地域行事との関わり方は、新校開校準備委員会などで協議された。今後、も意識的に協議すべきと考えられる。

提言 空き校舎に移転する「まちづくりセンター」の実施計画と改良工事期間を含め、空き校舎利活用計画を早期に。

提言1 新小学校のスタート

現状 スクールバス利用は全児童の7割を占める。教職員によるバスへの添乗や、地域見守り隊との情報交換を実施した。1・17カ所のバス停の整備に関し、教育委員会は区長と意見交換を行っているが、具体化は緒に就いたばかりである。

提言 施設整備などのハード面と、教育課程の編成などのソフト面の両面で、円滑なスタートを。

現状 駐車場の整備、職員室の増設、給食室拡張などを行った。四大祭は該当地区の小学校の参加から、藤蔵祭は小学校4年生、諏訪部祭は小学校5年生、政養祭は小学校6年生、戴邦碑祭は中学1年生で学ぶことに改めた。

提言5 「新・道の駅」整備事業

現状 4年12月時点で約29・7億円の整備費を想定している。整備基金は5年10月現在で約6・2億円であり、コスト削減と並び、国や県からの財政補助がどの程度確保できるかが重要になっている。

提言 現在の道の駅や周辺施設を含めた整備計画も。

現状 議論はほとんどされていない。早急に協議を進めるべきではないか。

提言 「新・道の駅」は運営方針を明確にし、地場産業の振興を基本に。

現状 5年11月に指定管理者の候補者が選定された。今後、具体的な運営方針が固まってくる。町民のための道の駅になるよう、議会としても提言を続けていく。

提言4 洋上風力発電

現状 法定協議会は事業完了まで存続する。町長の対応はこれからも注視する必要がある。

提言 町は引き続き町民への情報提供を。

現状 5年12月に町独自のフロントモニタージュを公開した。今後も積極的な情報提供を。

提言 町長は法定協議会における町民を代表する唯一の構成員として、町民の思いを的確に伝えて。

提言3 カーボンニュートラルの取り組み

現状 5年5月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、また「エネルギー基本計画」の改定に着手した。具体的施策の展開が急がれる。

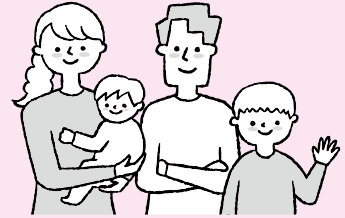
提言 町の未来を担う子どもたちの人材育成のため、カーボンニュートラルの学習の機会を。

現状 児童教職員だけではなく、保護者も対象とした学習会などが検討されている。早急な対応を。

提言 「2050年カーボンニュートラル社会の実現」に向け、県と連携協力し、実現性のあるカーボンニュートラル化への施策を。

第13回目

そこがききたい



町民と議会の懇談会



10月21日に蕨岡まちづくりセンターと吹浦防災センターで
11月4日に西遊佐まちづくりセンターにおいて開催

※詳しくは議会HPまたは各まちづくりセンターと図書館に資料があります。



報告書
QRコード

テーマに関する質疑・意見

Ⅱゼロカーボンシティ宣言Ⅱ

質問 「ゼロカーボン」とはどのようなことか。

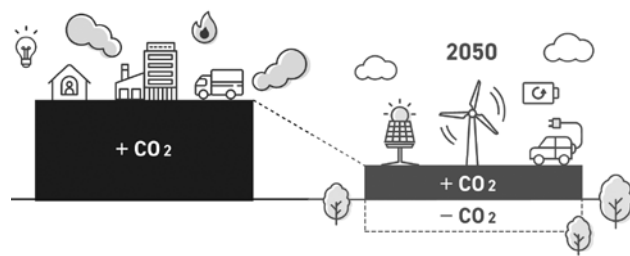
回答 2050年までに二酸化炭素排出量の実質「ゼロ」を目指します。出す量と吸収する量を、差し引きで「ゼロ」にする、という意味です。

意見 遊佐町は森林が多い。温室効果ガス吸収源維持の観点から林業の振興に力を入れてもらいたい。

質問 家庭用の風力発電に対する助成はないのか。

回答 平成30年度までは風力発電も再生可能エネルギー設備導入事業費補助金の対象でしたが、現在は対象外となっているため風力発電に対する町の助成はありません。

意見 宣言の内容が具体的に示されていない。テーマが大きいだけに、町民が小さなことから取り組みができるよう、提言してもらいたい。



カーボンニュートラル概念図

＝これからの地域づくり＝

質問 地域の環境整備や除雪など、人数がいたときにはなるとかなくなったことができなくなってきた。そのほか、交通手段や高齢者、子どもの居場所なども課題である。地域がいよいよ活動できるように予算の配分にしてほしいが。

回答 住民の移動手段については、タウンバスやワンコインでどこにでも行けるようなものを整備する必要があると考えます。知恵を絞りながら対応していきたいと思えます。

意見 人口減少の中でどうやって地域を維持していくか。今後どう取り組んでいかなければならないと考える。



移転予定の高瀬まちづくりセンター

質問 「まちづくりセンター」職員の処遇改善についての認識は。

回答 労働条件の整備など、今の時代に合っていない部分があると思いますが、十分認識できていなかったことに反省しています。基本的に人件費としては安いと思っています。最低賃金など環境も変化

しているので、要望をしたいと思います。

意見 町への移住者は高齢者が多いと思うので、その家族を取り込むことも移住者拡大につながるかと考える。

意見 遊佐の四大祭や偉人、歴史などを総合的に見聞できる施設がない。歴史資料館のような施設を作るよう検討してもらいたい。

質問 5年9月定例会で、餅加工場を整備する費用を削った補正予算が可決された。今後、生活クラブとの関係に支障はないのか。

回答 餅加工場の運営予定者は、生活クラブではなく第三者とのことでした。予算の修正理由として町の資産を一事業者に貸すにあたっては、事業計画や今後の町の支出見込みも明らかであるべきですが、それらが明確ではありませんでした。

＝検証 小学校統合＝

質問 平津・鹿野沢にバス待合所がないので、作る事ができる所には作った方がいいなど、統合前からバス停や通学路については話を出していいが、結果的に何も変わっていない。住民側が「しょうがない」と言うのを待っているような状況に思えるが。

回答 バス停は今後の児童数なども考慮しなければならぬので、永続的な課題だと思います。通学路となっている上小松地内横断歩道の注意看板の高さが低いため、大型トラックなどが気づかず通過している状況を教育委員会に伝えました。

意見 バス停で街灯がないところがあ。子どもたちの安全を考えれば、明るさは必要である。設置に向けて検討を。

回答 「太陽光パネルがついた街灯の設置を」という要望は一般質問でもしてきました。今後子どもたちの安全を守るためによりしくお願ひします。



遊佐小学校のバス乗降車場

意見

- ・除雪車が通過した際のバス停の状況について、子どもたちが車道に出て待っているとときもある。安全に乗降車できるように提言を。
- ・バス停付近にカーポートなどがある場合、天候状況により活用の検討を。

すべてのバス停を確認したとのことだが、再度の点検を見直しを。

回答 統合後初めての冬となります。意見をもち帰り、点検結果も含めて確認します。

質問 提言素案の「地区での児童の居場所確保」とは、どういったことを想定しているのか。「放課後子ども教室」で対応すべき、という意味なのか。

回答 夏休みに学校のプールにも入れなかったことから、統合後の長期休暇の過ごし方は今後の課題という認識からの素案で、決してそういう意味ではありません。

意見 統合によりバス通学になったことから、西遊佐地区では見守り隊の方々に意見を聞いた。「卒業したい」「辞めた」との意見が多かったことから、新たに保護者の協力も得て、各バス停で誰かが見守る旨を、教育委員会に報告している。課題の解決方法を皆で考え対応していくことが、よい町づくりにつながると思われる。議会からも密度のある連携ができる体制づくりに努力を。



Ⅱ 洋上風力発電 Ⅱ

質問 洋上風力発電による健康被害について、各議員はどう考えているのか。

回答 本当に大丈夫なのかと不安を強く感じています。

回答 低周波などによる健康被害の事例は、世界的に見てもほとんどありません。風車が発せられるかどうかが疑問です。

回答 身近な人間が被害に遭ったらどんな思いだろうと想像しますが、将来の子どものために何ができるか、代案があれば教えて欲しい。

回答 健康被害についての心配は当然だが、科学的に証明されていないことを聞かれても、答えようがないことを理解して欲しい。

意見 促進区域になったが、先行している秋田県の動向などを確認し、何かあれば町長に「待った」をかけられるようにしてほしい。

意見 風の環境に恵まれるこの地で、事業をぜひ進めても

らいたい。今後の貴重な財源にもなる。



長崎五島の浮体式洋上風車

意見 町や子どもたちの将来を念頭に置き、子どもたちと真剣に考えていく必要があると考えるので、議会からも協力を。

意見 このような会場（懇談会）に若い方がいないのは町特有の現象か。例えば、40歳以下の方々の懇談など、若い人たちが洋上風力発電をどう考えているか聞く必要があると考える。

質問 議会では特別委員会を設置しているが、これまでどういう活動をしてきたのか。

回答 議員間でもいろいろな考え方があり、どのような議論を行えばいいのか苦慮しました。酒田共同火力発電所の視察や、酒田市議会との意見交換会を行いました。まだまだ十分ではないという認識であり、今後も幅広い議論が必要と考えます。

意見 酒田港の基地港湾指定に向けて、質問など活動を。

質問 一般質問で風車の固定資産税について質問していたが、金額は知っているのか。

回答 30〜40基建つ場合、おおよその試算では1年に1億円と聞いています。年とともに課税標準額が減少していくので、それに伴い税収額も変動していきます。

Ⅱ その他 Ⅱ

- ・ 基幹産業である農業政策の充実を
- ・ 観光振興のために海沿いの

張り出し歩道の整備を
・ 「新・道の駅」が農業や観光にいい影響が出るよう取り組みを

回答 これほどいいロケーションの道の駅予定地はないと思います。地域にいい波及効果が出るよう、しっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。

質問 「新・道の駅」の概算事業費は。

回答 4年12月現在、29億7千万円となっています。



「新・道の駅」イメージ図

5年度 補正予算質疑

補正予算審査特別委員会 12月8日



委員長 齋藤 弥志夫
副委員長 渋谷 敏

物価高騰を受け、 低所得者世帯に交付金を支給

重点支援地方交付金として1億150万円含む2億6750万円の補正案が可決

補正予算

2億6750万円追加し、総額99億9600万円に。国の補正による重点支援地方交付金として1億150万円、松くい虫防除事業が例年より約3倍の7318万円の計上となった。

ほかの主な補正予算

- 鳥獣駆除事業…………… 36万円
- スクールバス運行管理費…………… 360万円
- 地域おこし協力隊推進事業…………… 260万円
- 観光施設整備事業…………… 838万円
- 遊佐高魅力化プロジェクト…………… 205万円

政策提言

懇談会報告

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

委員会レポート

遊佐人

産業課

鳥獣対策実施隊の増員計画は

○ 5年は例年を大きく上回るクマ等の出没がある。実施隊の増員計画は。

(渋谷 敏 委員)

○ 実施隊の隊員は、山形県猟友会遊佐支部の会員に委嘱している。猟友会員の確保に向けて支援を行う。

イノシシ出没増への対策は

○ イノシシの出没が前年を上回っている。作物等への被害対策は。

(渋谷 敏 委員)

○ 有害捕獲等を進めながら、農作物被害には電気柵の設置が有効なため、電気柵の設置等の支援を進める。



クマ捕獲用のハコワナ



クマ わなの見回りは

○ 人件費が増えたが、わなの見回り回数と、カメラでの監視の実施は。

(那須正幸 委員)

○ 延べ約250回で、わなに連動する発信機を併用し、原則毎日実施する。AI監視の実証事業を行っている。

総務課

デジタルリテラシー向上事業とは

○ 国民のデジタルリテラシー向上事業補助金の内容は。

(松永裕美 委員)

○ 小中学生を対象に実施しているプログラミング教室を5年度2回追加実施するときの文部科学省からの補助金。

女鹿漁港 浚渫事業

○ 女鹿漁港の浚渫事業、春までの対応回数は。

(那須正幸 委員)

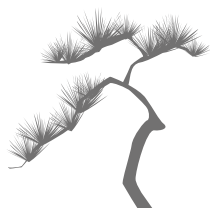
○ 5年度3回実施している。状況にもよるが、年度内でさらに3回の実施を想定している。

松くい虫被害対応は終わるのか

○ 松くい虫被害木の伐倒は、早期に実施すべきだが、5年度内にすべて終わるのか。

(菅原和幸 委員)

○ 現在被害木の調査中で、4年度の3倍程度を想定しているが、関係機関と連携し、5年度内の全伐倒を目指す。



地域生活課

八ツ面川の整備は

○ イバラトミヨの生息地である八ツ面川施設改修の具体的な内容は。

(菅原和幸 委員)

○ 防災の観点から構造物(踊り場)を撤去するもので、6年度は生態系に配慮しながら浚渫等を実施したい。

企画課

地域おこし協力隊の新規募集

現在3名いる遊佐高魅力化プロジェクトにさらに増やす理由は。

(駒井江美子 委員)

自然体験型留学生の増加により、生徒・保護者対応などの業務量が増加しているため。

新たな寮整備とは

遊佐高魅力化プロジェクトに205万円増額計上された。内容は。

(本間知広 委員)

野沢寮に替わる高校周辺の寮を整備するため内部工事費、敷金・礼金、家具・家電購入費。

遊佐高校

寮の在り方は

遊佐高校留学生の寮は、将来的にも5棟体制を維持するののか。

(齋藤 武 委員)

健康福祉課

「券」から「現金」へ

当面は5棟体制を維持していくが、将来的には男子寮、女子寮各1棟への集約も検討していきたい。

住居借上料

58万円が計上されているが、その内容は。

(佐藤俊太郎 委員)

遊佐高魅力化プロジェクトの新規寮1棟分の借上料と、地域おこし協力隊事業の新規着任予定者住居8棟分の借上料。



県の補助要綱では対象外としている、低度障がい、子育て世帯、生活保護世帯への町独自の助成分になる。

灯油購入費助成が「現金給付」に変わったが、その経緯は。

(本間知広 委員)

より使いやすい制度にするため、他の自治体の状況も踏まえた上で現金給付に変更。

暖房費助成

県費との差は

県費は835世帯分だが、町の歳出は950世帯を予定。差の理由は。

(齋藤 武 委員)

がん医療員購入助成

がん患者医療用具購入助成が8万円の補正だが、希望者が増えたののか。

(本間知広 委員)

例年申請者は5人前後だが、5年度は10人以上となり、補正予算での対応となった。

教育課

放課後子ども教室

協力謝礼

小学校統合前後で開所状況は変わっていないと思うが、なぜ増額か。

(今野博義 委員)

スタッフの活動時間が、準備や打合せ、連絡調整、避難訓練等により、当初の見込みより増えたため。

特別教室冷房

これからか

特別教室の冷房設置に係る経費だが、当初予算にはなかったののか。

(今野博義 委員)

遊佐中特別教室のエアコン設置実施設計費である。5年の猛暑を踏まえ、6年の夏前にエアコンを設置することとした。

小学校通信費増額の理由

統合により電話料は減ると思われるが、増額はなぜか。

(今野博義 委員)

遊佐小の電話料や教育課で管理する旧小学校の警備等、回線使用の電話料が当初の見込みより増えたため。

なぜ「さかなクン」を呼ぶ

事業計画とその内容は

日程は決まっていな

(松永裕美 委員)

いが、開校初年度の6年生が卒業する前に、全児童とさかなクンとの交流を考えている。

がん患者の就労や社会参加を促進するため
医療用ウィッグの購入費用を助成します
乳房補整具

県と市町村では、がん患者の就労や社会参加を促進し、療養生活の質をよりよくなるように、医療用ウィッグ(かつら)・乳房補整具(埋没パッド型)の購入経費の一部を助成します。
ご希望の方は、以下をお読みの上、お住まいの市町村で申請手続きをしてください。

助成を受けられる方
助成の対象となるのは、次の項目すべてに該当する方です。
○ 山形県内に住所を有する方
○ がんと診断され、その治療を受けた又は受けている方
○ がんと診断に伴う脱毛又は乳癌の切除により、就労や社会参加等に支障がある又は支障が出るおそれがあり、ウィッグ又は乳房補整具が必要となっている方
○ 物の活用等に基づく公的助成を受けていない方

助成対象及び助成金額など
助成対象：令和4年4月1日以前に購入したものの
助成金額：購入経費の1/2又は 医療用ウィッグ2万円 のいずれか低い額を助成します。
乳房補整具 1万円(乳癌の切除による)

申請手続き
お住まいの市町村役場健康福祉担当課の窓口へ、必要書類をご提出ください。
ご家族や関係者による代理申請や、状況に応じて、郵送による申請もできます。

申請項目	本人申請	家族申請	医療機関申請
助成対象の申請	○	○	○
がん患者医療用具申請	○	○	○
がん患者医療用具申請	○	○	○
助成対象の申請	○	○	○
本人申請	○	○	○

この他に、市町村によって、追加が必要な書類等があります(申請窓口及びお問い合わせ先等参照)。申請前にご確認ください。不明な点はお住まいの市町村役場にお問い合わせください。

がん医療具 県のPRチラシ

一般質問

町の事業と課題を問う

10議員登壇

12月5日・6日

政策提言

懇談会報告

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

委員会レポート

遊佐人

一般質問通告の要旨(通告順)

菅原 和幸議員

○ゼロカーボン化に向け職員体制の見直しを

松永 裕美議員

○0歳児おむつ無料戸配の提案

佐藤 俊太郎議員

○住宅地等でのクマ出没対策は

本間 知広議員

○「新・道の駅」計画の進捗は

那須 正幸議員

○誰もが利用しやすいトイレへ

齋藤 弥志夫議員

○促進区域指定後の町は

渋谷 敏議員

○生活クラブと共同宣言これからは

齋藤 武議員

○「集落の教科書」集落支援に

駒井 江美子議員

○小学生の放課後の居場所

今野 博義議員

○まちづくりセンター移転は公平か



ゼロカーボン化に向け職員体制の見直しを



菅原 和幸 議員



質問者の動画が見られます。

問 町は、5月31日に「ゼロカーボンシティ宣言」を行った。宣言に伴う施策に対応するのは、町民や事業者である。

「仮称・ゼロカーボン推進室」を設置し、各課横断的な調整を行い、明確な施策を示してはどうか。

来年度に向け組織再編を検討

答 5年度改定する「エネルギー基本計画」で施策の方向性や取り組み内容を示すとともに、再エネ導入や脱炭素化に向けた事業を進めていくため、6年度に向け、組織の再編を検討していく。



温室効果ガスの森林吸収源にもつながる砂防林の植林(遊佐小4年生 5年11月)

鳥獣被害の増加とありますが、クマのほかにイノシシの被害も増えているのですか。(遊佐 Sさん)
Re: 農地の掘り返しなど、被害は年々増加傾向とのこと。



0歳児おむつ無料戸配の提案



町役場にある赤ちゃんぽっと♡ステーション

問 産後の母親への支援を強化
答 定期的な相談支援の機会を提供することは、産後うつ病の予防や児童虐待防止につながる取り組みでもある。産婦の体調回復や育児不安の軽減が図れるように検討を進める。

問 これからは、積極的に行政も対象者のいる場所に向き、必要なサービスや情報を届ける方法も重要だと考える。「0歳児紙おむつ無料戸配」を予算化し、産後ケアと見守りを充実すべきでは。



まつなが ゆみ
松永 裕美
議員



質問者の動画が見られます。

政策提言

懇談会報告

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

委員会レポート

遊佐人

住宅地等でのクマ出没対策は



木によじ登ったクマ(吹浦地内)

問 防災無線等を活用
答 看板の設置や回覧文書、防災無線を活用し注意喚起を行う。集落周辺への出没リスク軽減のため、地域ぐるみの対策として協力を呼びかける。

問 5年はクマの出没が多い。町民に対する広報活動をどのように強化するのか。



さとうしゅんたろう
佐藤俊太郎
議員



質問者の動画が見られます。

「新・道の駅」計画の進捗は



上空から見た「新道の駅」予定地

問 道路を活かした整備を進める
答 「遊佐・鳥海IC」は、国や県の協力もあって本町が要望した利便性の高い道路として整備され、先ごろ「新・道の駅」の指定管理候補者も選定した。移転開業に向け、官民一丸となって準備を加速させる。

問 9年度初頭の開業に向け整備が進んでいる「新・道の駅」。5年度中には予定地の「遊佐・鳥海IC」まで開通する。いよいよここまで来たかという思いだが、現在の進捗は。



ほんま ともひろ
本間 知広
議員



質問者の動画が見られます。



誰もが利用しやすいトイレへ



みんなが使えるトイレに

問 利用状況も踏まえて検討する
答 教育課管理の施設で遊佐中や町民体育館など、7つの施設は全てのトイレが洋式化されているが、その他は完全な洋式化ではない。今後の整備計画は、利用状況も踏まえて検討する。

問 小学校やサンスポ、町民スポーツ広場を含め教育・体育・文化施設の約6割のトイレが洋式化されていない。利用者にとっては衛生面や利便性が悪いと思われる。整備計画は。



なす まさゆき
那須 正幸
議員



質問者の動画が見られます。

政策提言

懇談会報告

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

委員会レポート

遊佐人

促進区域指定後の町は



洋上に立つ風車

問 国や県と連携し責任を持って対応
答 発電事業者は、法定協議会意見取りまとめの留意点、環境配慮事項を遵守することになっており、国や県と連携しながら、事業完了まで責任をもって対応していく。産業界の活性化にも期待している。

問 促進区域の指定を受け、事業者の公募が始まる。国の基準に適合するので漁業問題と健康問題はほとんどないと見なせる。技術者の養成も必要であるし、町はどのように臨んでいくのか。



さいとう やしお
斎藤 弥志夫
議員



質問者の動画が見られます。

生活クラブと共同宣言 これからは



町が所有する「共存の森」

問 共同宣言の更なる推進をめざす
答 移住・定住や共存の森、持続可能な農業への取り組みに加え、採石反対の署名活動、大規模太陽光発電設備の設置などの実績がある。地域課題を共に解決する枠組みとして共同宣言は必要不可欠である。

問 遊佐町・JA・生活クラブが共同宣言を締結して10年がたつ。長年経過し事業の進捗を検証する時期になっている。この間に実施した事業の実績と改めて共同宣言の必要性は。



しぶや さとし
渋谷 敏
議員



質問者の動画が見られます。



「集落の教科書」 集落支援に

遊佐町集落別人口調査表

集落名	令和4年10月1日現在		令和3年10月1日現在		令和2年10月1日現在		令和1年10月1日現在		令和0年10月1日現在	
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口
川上集落	10	49	12	53	13	58	14	63	15	68
川下集落	12	58	14	65	15	70	16	75	17	80
...
計	100	450	110	480	120	500	130	520	140	540

町内110の集落 地域性も考慮し支援を(町HPより)

問 「集落の教科書」づくりは、住民が主体的に取り組むことが重要と考える。集落支援ニーズの把握を含め、関係団体と協議のうえ協働によるまちづくりを進めたい。

答 集落のニーズを把握

問 移住者に向け「集落の教科書」などガイド作りが各地で始まっている。作成過程では元からの住民が地域を顧みることになり、波及効果は大きい。こうした手法も採り入れ、力強く集落支援を。



さいとう たけし
齋藤 議員



質問者の動画が見られます。

政策提言 懇談会報告

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

委員会レポート

遊佐人

小学生の放課後の居場所は



放課後子ども教室(吹浦)

問 今後5年以内を用途に、空き校舎や未利用施設等を活用して、新たな民間事業者が容易に参入できるような条件の整備に努めるとともに、関係団体に働きかけを行うなどし、真に保育が必要な児童のニーズにこたえるため受け皿の拡充に努める。

答 5年以内を用途に整備

問 少子化や核家族化、小学校の統合などにより、居場所の確保に對してもっと向き合っていく時に来ていると思う。どのように整備していく予定なのか。



こまい えみこ
駒井江美子 議員



質問者の動画が見られます。

まちづくりセンター移転は公平か



講堂を使う「巨大紙相撲 蕨岡場所」

問 町財政が放漫経営では町民へのサービス低下につながる。現在の床面積以上になるような過大な投資は必要ない。現在の財政状況と将来の財政負担を考慮し、2件で3億5千万円とした。

答 将来の財政負担を考慮している

問 町が示す蕨岡まちセンターの移転設計案は、講堂がないなど住民要望にほど遠い。吹浦、稲川、西遊佐の各まちセンターは約2〜4億円建新築。蕨岡・高瀬の工事費の上限が2件で3億5千万円はなぜか。



こんの ひろよし
今野 博義 議員



質問者の動画が見られます。

12月定例会の議案内容（一般会計補正予算他、11件）

議案番号	議案名	内容
議 69 号	令和 5 年度遊佐町一般会計補正予算（第 4 号）	歳入、歳出にそれぞれ 2 億 6750 万円追加し、歳入、歳出それぞれ 99 億 9600 万円とする
議 70 号	令和 5 年度遊佐町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	歳入、歳出にそれぞれ 903 万円追加し、歳入、歳出それぞれ 16 億 1703 万円とする
議 71 号	令和 5 年度遊佐町水道事業会計補正予算（第 2 号）	歳入、歳出にそれぞれ 300 万円追加し、歳入、歳出それぞれ 3 億 9896 万円とする
議 72 号	遊佐町下水道事業の設置等に関する条例の制定について	地方公営企業法の規定を全部適用することに伴い、新たに条例を制定するもの
議 73 号	遊佐町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	スマートフォンに搭載した電子証明書機能によるコンビニ交付サービス及びらくらく窓口証明書交付サービス開始に向けた規定を改正
議 74 号	遊佐町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	国家公務員の育児休業等に関する法律改正に基づき、男性職員の仕事と育児両立のための休暇基準を改正
議 75 号	遊佐町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員が育児休業等を取得しやすい環境整備のための改正
議 76 号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	県人事委員会勧告に準じ、一般職の職員の勤勉手当改定に伴い、常勤の特別職職員及び議会議員の期末手当を改定
議 77 号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	県人事委員会勧告に準じ、職員の給与を改定
議 78 号	遊佐町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	出産する予定または出産した被保険者の所得税額及び均等割額の減額措置に係る規定を整備
議 79 号	町道路線の認定について	国道 345 号線北目地内の道路新設に伴い、八日町地内の一部を町道として移管管理するため町道に認定するもの
発議 10 号	まちづくり政策提言の提出について	P2～3 に提言を掲載

全議案 全員賛成で可決

（傍聴者 のべ 13 人）



エルパのコワーキングスペース



ワークショップの様子

あれは今どうなってる？
若者ビジネス創出事業

5 年度の新規事業である「若者を中心としたビジネス創出事業」の現状を、担当の産業課に聞いた。

町内外の若者で構成している「若者構想会議」が中心となっている。現在は主に課題の抽出作業をしているが、次のようなことが具体化している。6 年 1 月からエルパの空き店舗に共同で使える事務や会議スペース（コワーキングスペース）を試験的に設置した。また、2～3 月にかけてビジネス向けデザイン講座、小中学生向け AI ロボットプログラミング講座、大学生対象のインターンシップなどを予定している。さらに、年度末の活動報告会が開催される。

町としては、6 年度は 5 年度に抽出した課題の絞り込みを行いながら事業を継続したい、とのことである。地に足のついた息の長い事業に育つことを期待したい。

総務厚生常任委員会

宮城県・岩手県・秋田県 10月11～13日

今注目されている「空き校舎活用、公民連携のまちづくり、洋上風力発電、ジオパーク学習センター」がある近県を訪れ、4か所を視察した。

委員長 齋藤 弥志夫 副委員長 渋谷 敏

委員会 レポート (管外視察)

政策提言

懇談会報告

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

委員会レポート

遊佐 人

宮城県川崎町

アオネ×マトカ

空き校舎を活用して

プロポーザル方式に応募した民間の団体が、旧校舎を利用してキャンプ場を始めた。コンセプトは自分たちの理想のキャンプ場にするということで、様々なプランが楽しめる。企画運営面で行政とのタイアップがあることも成果につながっている。AONEは旧分校がある青根地区より、MATKAはフィンランド語で「旅」を意味する。



旧前川小学校青根分校

コメント 今野 博義委員

地域の理解を得るためには丁寧な説明と明確な展望を描くことが大切。

岩手県紫波町

オガールプロジェクト

補助金に頼らないまちに

紫波町駅周辺の公民連携開発事業プロジェクトには、年間100万人が訪れる。採算性や効率化だけでなく、循環社会の構築に向けたエネルギーソリューションの運営なども行う。オガールの名称は、方



オガールプラザの全貌

言で成長を意味する「おがる」より、フランス語の「駅」にも由来する。事業のコンセプトは、暮らす・働く・学ぶ・集う・憩う・楽しむ、を掲げる。

コメント 菅原 和幸委員

今後は、紫波町が掲げる「みくまるつと脱炭素化事業」の展開を注視する。

秋田県能代市

洋上風力発電

洋上風力を間近で見て

能代港の洋上風力発電所は日本初の大型商用施設。秋田県内では全国最多となる4つの海域が国の「促進区域」に指定されている。

能代観光協会がまとめたまちへの経済波及効果では、視察団の増加やプラス観光の増加、宿泊・食事予約の増加など変化が起こっている。地元企業の関連業務等の参入で雇用の活性化が期待されるが、抱える課題もある。

コメント 渋谷 敏委員

港湾には洋上風力発電が整然と立ち並ぶが、ま



はまなす展望台から見る洋上風力発電

コメント 那須 正幸委員

受け入れる団体は多く「何を見せるかではなく、どう仕掛けるか」を認識した。



スタッフの説明メニューは豊富

秋田県男鹿市

ジオパーク学習センター

次世代への環境づくり

この学習センターでは半自然草原や400種以上の植物が生息する寒風山を背景に、地球科学から防災教育まで幅広く学べる。

大潟ジオパークのダイ

まとめ 齋藤弥志夫委員

コロナの影響がまだ収束していないので、遠方をひかえて宮城、岩手、秋田の東北中心の研修を行った。それぞれ有意義であったし、できるだけ町政に反映させるように努力していきたい。

文教産建常任委員会

山形県内 村山市・小国町 10月16～17日

廃校の利活用、廃材を利用した商品開発、地域留学制度など、
県内の取り組みを視察した。

委員長 松永 裕美 副委員長 駒井 江美子

委員会 レポート (管外視察)

かつての中心地に
にぎわい呼びもどす。
廃校の利活用の成功例

平成28年に閉校した村山市にある県立楯岡高校の跡地を令和4年にLink MURAYAMA（リンクムラヤマ）としてオープン。
・明確な理念
人のつながり、なりわいを作り、にぎわいを作るというコンセプトで公共施設に民間事業者が同居する施設を作ったとのこと。公共施設は、用途を限定せずに利用者が使いやすいような環境を整えていた。
・子どもたちの居場所づくり
子どもが集まれる場所も設けていて、子どもラボや、屋内施設下のピロティには、初心者向けのスケートボード施設を備えている。近くの小学生が宿題をしに集まってきたり、村山駅から徒歩圏内というアクセスの良さから、平日は山形市からも高校生が来て利用しているとのことだった。



屋内施設下のピロティ

・民間スペース
はじめは入居者募集に苦労したとのことだが、現在は19社が入居しているとの話だった。入居者は、ピザなどの飲食店、ネイルサロン、コインランドリー、ゲストハウス、設計事務所など様々。
コメント 佐藤俊太郎 委員
視察中、小学生の声、大人の声が聞こえた。人が集まるシカケが機能していると感じた。

廃棄されるものから商品
開発・雇用も生み出す

小国町に豊富にある森林を活用した木質エネルギーを中心にエネルギーの地産地消を目指す小国グリーンエナジー合同会社。
・廃材から商品開発
製材所の木くずと冠婚葬祭場から出る半端なろうそくのどちらも廃棄されるものから、着火剤を福祉作業所に依頼して製造して販売している。
・町にあるものを利用
町内の森林組合やお隣新潟県関川村の森林組合から木材を購入して薪としても販売している。薪を定型のサイズに切り、乾燥のためのかごに詰めしていくのは地域の元気な70代～80代の方とのこと。地域にあるものを利用して、地域に雇用を生み出す仕組みを作り出している。
コメント 本間 知広 委員
リサイクルを基本とした事業で利益を出し、さらに事業拡大をしながら

活動を行っていて驚きを感じた。



廃材から作られた着火剤

地域留学を取り入れて
いる高校と課題を共有

昨年度から地域留学制度を取り入れている県立小国高校。遊佐高では取り入っていない1年間の留学制度も取り入れているとのこと。
・小国高校の地元率
小国町内から小国高校への進学率は、4割程度とのことだった。交通事情や雪の多さなどの理由が地元率の高さであろうとのこと。
・留学生の滞在方法
滞在方法は、下宿と寮から選択でき、現在男子生徒は下宿、女子生徒は寮とのこと。
・留学制度の課題
地域留学制度を取り入

れている高校が増えたため、生徒募集の難しさを感じていると担当者は、話していた。
また、留学生とかかわる町民が固定化されていること、寮などの住環境の整備を課題にあげていて、共通なことに頭を悩ませている様子がうかがえた。
コメント 松永 裕美 委員
寮が完備されており、受入れる側の熱意や本気度が感じ取れる研修であった。

齋藤 武 委員

遊佐高支援との共通課題は多い。遊佐町からは今後も連携の働きかけを。



小国高の学生寮

シリーズ 遊佐人 16

Yuzajin

未来に生きる力を育む

杉の子幼稚園には現在99名の子どもたちが通っています。建学の精神を引き継ぎながら、令和の今、遊びを原動力に「未来に生きる力」を育んでいます。

・自ら考え自ら行動する力・友だちと力を合わせる事が楽しいと感じる心・できなかったことにくよくよしない事で新



笑顔いっぱいの園児たち

新たに挑戦しよう 頑張る力育む

杉の子幼稚園

子どもたちは遊佐の宝。「子どもたちを育む」4回目は、杉の子幼稚園の遠田裕子園長にお話をうかがいました。

たに挑戦しようとする力は、杉の子幼稚園が自信をもって育んでいる力です。

小さいお友だちは大きいお友だちが大好き。大きくなったお友だちは小さいお友だちがかわいくてたまりません。杉の子幼稚園は、楽しくて素敵で、毎日が笑顔でいっぱいです。

はじける親子行事

園の魅力としてPTAのホットなネットワークがあり



PTA手作りのウォータースライダー

園児でこんなこと

流行ってます

ピタゴラスイッチが年長さんの間では大ブームです。子どもたちは、手作りの仕掛けを組み合わせてトンネルを作り、ビー玉を転がします。細いレールの上を走らせたビー

小学校入学は

最高のあこがれ

もうひとつは、お遊戯会から火が付いたゾンビダンスです。年長さんのキレッキレのダンスを真似て、小さいお友達の間で大流行りです。クレープ屋さんが大繁盛のお店屋さんごっこ。今どきは「ペイペイ」や「スワイプ」で面白い物しています。



ビー玉の行方は

ご家族に寄り添う 人情味あふれる先生たち

杉の子の先生方はバイタリティー(V)、スペシヤリティー(S)、オリジナリティー(O)、そしてパートナーシップ(P)の「VSO P」が自慢です。人とかわることが大好きなチャレンジ精神旺盛な持ち主ばかり。子どもたちのかわいいうエピソードを笑顔で伝え合い、たくましい成長には涙をこぼします。ご家族の気持ちになつて子どもたちを心から愛する、人情味あふれる先生たちばかりです。

議会に要望はありますか

少子化に伴う園児数の減少は喫緊の課題です。「遊佐町の子どもたちが一人残らず幼児教育の恩恵に浴することができるよう」との願いを込めて杉の子幼稚園を設立した佐藤於久二先生の「公益の志」を引き継ぎ頑張ります。これからも園の活動に、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

めんぱん全開！ 「ちぎのいぬぎから」

衣装を着て、ただそこにいるだけでめんごい。12月9日の「すぎのこゆうぎかい」にお邪魔してそう思った。園児たちの姿を見ているだけで、自然にこちらも笑顔になってしまった。ただそこにいるだけでもめんごいのに、一生懸命な我が子の姿に保護者たちもメロメロの様子だった。また、年少、年中と年齢があがるにつれて、自分たちのやりたいことも取り入れて工夫いっぱいステージになっていた。表紙写真候補が何点あったなかで、私たち広報委員の心もしつかりつかんだ「すぎのこゆうぎかい」なのだった。



議会を傍聴してみませんか 3月定例会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例会が開催されます。3月定例会は、本会議と補正予算・予算審査特別委員会が議場で行われます。一度、傍聴してみませんか？

3月定例会の予定

- 3月 4日(月) 本会議・常任委員会
- 3月 5日(火) 補正予算審査特別委員会・施政方針
- 3月 6日(水) 一般質問
- 3月 7日(木) 一般質問・予算上程
- 3月 8日(金) 常任委員会
- 3月11日(月) 常任委員会
- 3月13日(水) 予算審査特別委員会
- 3月15日(金) 予算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

議会クイズ

119



令和5年11月1日162号の議会クイズには41名の方の応募があり、41名の方が正解でした。
答え ①C ②B ③A

当選者の発表は、商品券の発送をもって代えさせていただきます。

①町が「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったのはいつか。
A 5月10日
B 5月25日
C 5月31日

②遊佐高魅力化プロジェクトの増額金額は。
A 105万円
B 205万円
C 305万円

③杉の子幼稚園の先生たちが自慢のVとは。
A バイタリティー

B ビクトリー
C バラエティー

応募方法

ハガキに答えの記号

(例) ①A ②B ③C)

住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。

正解者の中から10名様に米くちゃんスタンプカードお買い物券1000円分を、お届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません。町広報に折込みのハガキは使えません。

★
ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

★
あて先/999-8301

遊佐町遊佐字舞鶴202
役場内 議会事務局
締め切り2月29日

発表は次号です。

編集室より

四季の変化に富んだ遊佐町でも、このごろの異常気象は地球温暖化の影響では、と考えるようになっています。毎年始まる春作業の忙しさを思うと、「春よ来い、あまり急がずに！」とつい口ずさんでしまう。それでもやがて訪れる木々の芽吹き、真新しいランドセルや長めの制服を身にまとう子どもたちを見るのが何よりの楽しみで、来る春が待ち遠しくなります。

今回も町民の方々に見ていただきたい一心で発行する「議会だより」が、少しでも皆様のお役に立てることを願っております。

(渋谷 敏 委員)

発行人

議長 高橋 冠治

議会広報常任委員会

- 委員長 本間 知広
- 副委員長 駒井江美子
- 委員 斎藤弥志夫
- 委員 土門 治明
- 委員 齋藤 武
- 委員 渋谷 敏